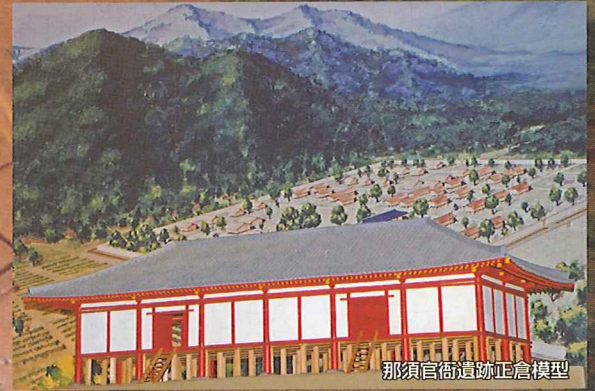


とちぎ古代への招待Ⅱ

古墳時代のヤマト政権と栃木県(下野国・那須国)の関わりを、下野・那須両地域の古墳をキーワードにそれぞれの地域性を見ていきます。平成25年度は、邪馬台国の女王卑弥呼の死後はじまる古墳時代が、どのように始まり、その後の東アジアの中の日本として繁栄した倭の五王の時代は何をもたらしたのかを解説しました。

平成26年度は古墳時代後期から終末、さらには奈良時代に至る変化の中で、下野・那須地域が日本史とどのように連動していたかを、最新の考古学研究をもとにわかりやすく解説します。



那須官衙遺跡正倉模型

プログラム

第1回 1月31日(土)「古墳時代後期のしもつけ」

とちぎ未来づくり財団 しもつけ風土記の丘資料館 副主幹 進藤 敏雄

第2回 2月21日(土)「飛鳥時代とその後の^{しもつけの}下毛野と那須」

とちぎ未来づくり財団 なす風土記の丘資料館 館長 篠原 祐一

※講師の緊急の都合等により、プログラムを変更する場合があります。



那須国造碑



吾妻古墳石室玄室



塚原古墳群石室



菅田古墳群全景



琴平古墳群全景



小丸山古墳群

実施日時 平成27年 1月31日(土)・2月21日(土)
時間 13:30～15:30

会場 栃木県総合文化センター 第1会議室

受講回数 セミナーは全2回ですが、1回のみ受講でも受け付けます。

募集定員 各回100名程度です。 受講料 無料です。

申込期間 平成26年12月1日(月)から各回の開催日まで各回定員になるまで受け付けます。

※応募方法については裏面をご覧ください。

**平成26年度生涯学習セミナー「マロニエ文化学びのひろば」
歴史セミナー「とちぎ古代への招待Ⅱ」アンケート結果より
第1～2回 受講者数283名 回答者数209名 回答率73.8%**

(Q1)お住まい

宇都宮市内	113名	54.1%
宇都宮市外	87名	41.6%
県外	6名	2.9%
回答なし	3名	1.4%

(Q2)応募した動機についてお答えください。(複数回答可)

趣味・教養のため	171名	81.8%
職業に生かすため	2名	1.0%
地域活動やボランティア活動に生かすため	35名	16.7%
自ら取り組む学習対象を探するため	32名	15.3%
余暇の活用のため	41名	19.6%
その他	5名	2.4%
回答なし	1名	0.5%

(Q3)1講座あたりの回数(回)についてお答えください。

適当だった	126名	60.3%
多かった	0名	0.0%
少なかった	57名	27.3%
回答なし	26名	12.4%

(Q4)講座全体を通しての満足度についてお答えください。

満足できた	88名	42.1%
概ね満足できた	89名	42.6%
あまり満足できなかった	4名	1.9%
満足できなかった	2名	1.0%
わからない	4名	1.9%
回答なし	22名	10.5%

〈御意見〉

- ・資料を多数用意してくださっている先生に感謝します
- ・歴史や地域性がよく分からないことが多い
- ・現地でのセミナーを実施して下さい
- ・初めて参加し大変楽しく受講出来次回もぜひ参加したいと思います
- ・広く広報でお知らせ下さい
- ・興味ある内容で毎年勉強になります
- ・「那須国造碑」の碑文の内容がありましたので有り難く思いました。前々から知りたいと思っていたからです
- ・古代史について質問できる、メール、FAX、TELのサービスがあったらいいと思う
- ・歴史と古墳との関わりや古墳の形の変遷がよくわかる。下野氏族の中央での偉大さがわかった
- ・講師の先生方の熱意が伝わるとても良い講座であったと感じます
- ・良いセミナーでした。全国の古墳をもっと教えてください

〈歴史セミナーで実施して欲しいテーマ〉

- ・古墳時代の東国(上毛野、下毛野、常盤)について概論を。北陸、長野、埼玉との関連を含めて

- ・東山道、奥大道など道路遺跡などいかがでしょうか。また、河岸、河川交通、河川を用いた流通など
- ・このようなテーマで継続してください。楽しみです。それにしても栃木の古墳時代の事私は知らなすぎました。多くの希望を含む栃木の歴史に思い巡りました
- ・古墳の終末の政治的又は別の理由を理論的に説明して欲しい
- ・歴史巡りの“小さな旅”の様な屋外バージョンもあっていいのでは
- ・幕末～明治～大正～昭和に至る近現代の全容が理解出来るような通史を解りやすく解説したテーマ(今後の栃木学を考える上で、その基礎となっている1つの古墳を中心に発掘された住居跡から考えられる当時の〇〇〇〇の形成の様子。また当時の生活等の様子も知りたい)
- ・やじりや石器・つぼなどの主な年代区分などを時間の許す範囲内でやさしく解説してくれるとありがたいです
- ・「歴史」を学んでも「社会」がわからない。「歴史を学ぶ」より「歴史から学ぶ」、現在の社会で生きていく上で何の役に立つのか？どうしたら立たせることができるのか？その上で「未来」がどうつくれるのか生涯のなかでどう生かせるのか等
- ・県以外、日本の成り立ちなども聞いてみたい
- ・栃木県の今後の課題の対応 例 認知症対応、高齢化対応等
- ・科学技術、理科的なもの(宇宙、医学、自然、地学など)
- ・文学的なもの(宇都宮歌壇、塩原、百人一首、蓮生、塩谷朝なりなど)
- ・宇都宮城のなりたちから、ほろびるまでを説明していただきたい
- ・宇都宮氏について
- ・最新の発掘や修復情報等の発表もあると有り難い
- ・下野国の古代から近世までの“街道”とその意義についての講話を
- ・明治以降における栃木県の文化・政治の発達について
- ・古代の垂飾品についての講演をお願いします
- ・今回の次の時代(奈良時代以降)の講座をお願い致します
- ・明治以降の人物偉人伝
- ・古墳時代以前の講座も作って下さい
- ・製鉄の伝わり方について
- ・下小館遺跡(自治医大付近)など中世のもの
- ・奥大道、東山道など道跡の遺跡など
- ・縄文当時の住居と水場
- ・もう一つの明治維新～敗者からみた歴史～
- ・明治維新の裏側～聖地日光の扱われ方～
- ・日光東照宮の歴史
- ・宇都宮二荒山神社と日光二荒山神社
- ・自然(地質[葛生、那須烏山など])、動植物
- ・歴史(宇都宮歌壇も含めて)
- ・健康(ガン、Ips細胞などの最新技術、放射線について)
- ・天体(季節の星座など)
- ・高齢化を考慮し、認知症に対する対応(地域、家族がどのように対応するか)
- ・宇都宮市内の寺院と仏像の解説(現物を見ながら専門家に解説してほしい)
- ・災害の考古学
- ・日本と栃木の歴史を関係づけた講座継続してください。本日の講話わかりやすく楽しかったです
- ・古事記・日本書紀と下野について
- ・栃木県内の古代道について
- ・「下野の古代史」シリーズで開催してほしい
- ・小山氏 宇都宮氏の興亡
- ・全国版歴史セミナー
- ・栃木県における初現期の古墳について
- ・栃木県における前方後方墳の意義について
- ・栃木県・県北における前方後方墳の発達過程による県内における影響について教えてください
- ・音楽関係を増やして欲しい(他期間での講座がほぼ皆無のため当所で)